富	山高等専	門学杉	5	開講年度	令和05年度 (2	2023年度)	授業科目	 補助機械	 江学 I		
科目基礎		או נינו		ארו דויינויו		1023 192)	12411		<u>v— , </u>		
科目番号						科目区分	亩阳	東門 / 必修			
授業形態		授業	,			単位の種別と単位		専門 / 必修 履修単位: 1			
		商船	学 初			1					
開設学科			1 1 + 1			対象学年 4 週時間数 2					
開設期 数 割 表 対 表 対 表 対 表 対 表 対 表 が 表	+		前期			週時間数					
教科書/教材 舶用機関 2				実教出版							
担当教員		小林	^								
到達目標											
		下原理及	び構造、	装置全体の概要	要を理解する。						
ルーブリ	<u>ック</u>										
				関想的な到達レ					未到達レベルの目安		
評価項目1			造	う凍機とポンプ 5、装置の概要 1できる	の基本原理及び構 について十分に説	冷凍機とポンプの 造、装置の概要の 明できる	₹説 造、装置	冷凍機とポンプの基本原理及び構造、装置の概要について説明できない			
 評価項目2			- 1-7	1669		143.66.9	11 CG 20		3.0		
評価項目3											
学科の到	幸日煙で	5日レイ	カ関係			1		I			
子 件の封 MCCコア科		<u> </u>	クスポイ								
教育方法	寺	40.4.	- /= · ·	45 445. 100	F11 1454 100 55 .	1º /- =- 1º	NIAL - I +- ··	- 100 A - 477	<u> </u>	<u> </u>	
概要		船舶 初に ぶ。	の連用に担当する	おいて補助機材 機器なので十分	城は、推進機関、主決 予理解できるように ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ホイラ、電気機器 する。冷凍サイク	以外の大部分 ル、各種ポン	の機会の総称で プの作動原理、	ある。船舶職 特徴及び比較	員として最 について学	
授業の進め	方,方注	講義	及び演習								
以来りため)	71 / 71/区				D講義の復習および						
注意点		授業	外学習・	事前・授業内2	多科目に求められる D結果、単位の修得 当の授業外学習が必 Sを予習する. Sに関する課題を解					試験を受け	
授業の属	性・履修	を 上の [≥分								
□ アクティ	ィブラーニ	ング		ICT 利用		☑ 遠隔授業対応	<u>,</u>	☑ 実務網	経験のある教員	員による授業	
授業計画											
		週	授業	内容			週ごとの到達	目標			
		1週	・シ ・冷	ラバスによる 凍。冷蔵装置の	ガイダンス の概説①		・講義説明の内容を理解する ・舶用補機の冷凍・冷蔵の位置付けを理解する				
		2週		凍。冷蔵装置の 媒とブライン	の概説②		・ガス圧縮冷凍サイクルを理解する・冷媒とブラインを理解する				
		3週	• P-		幾の種類		・モリエル線図の理解と基礎計算を演習する ・圧縮機の種類を理解する				
	1stQ	4週	・ガ	ス圧縮式冷凍	幾の構造①		・圧縮機、凝縮器、膨張弁、蒸発器の構造を理解す				
		5週	・ガ	ス圧縮式冷凍	幾の構造②						
				動制御装置						- C 生用する	
		6週		凍装置の運転の				機油の性質を理			
		7週		凍装置の故障の	とその原因		・冷凍装置の故障原因と対象			<u> </u>	
前期		8週		間試験							
	2ndQ	9週	・ポ	間試験の解説 ンプの概説			・ポンプの分類、用途と緒元を理解する				
		10週	・渦	巻きポンプのヨ	里論①				計と特性曲線を理解する		
		11週	・渦	巻きポンプのヨ	里論②		・渦巻きポンプの比較回転数 ・渦巻きポンプの流量調整を			タと利用例を理解する ラ法を理解する	
		12週	• 渦	巻きポンプのヨ	里論③				転方法とその特性曲線を理解する		
		13週	・渦	巻きポンプのヨ	- 里論④ ・渦 ・渦		・渦巻きポン ・渦巻きポ ^ン	巻きポンプのキャビテーションを理解する 巻きポンプの始動特性を理解する			
		14週	• 温				・渦巻きポンプ以外のポンプについて概要を理解する				
		15週			/ ` / / / / / / / / / / / / / / / /		・期末試験			、ニーエハ+ ブーひ	
		16週				・解答用紙返却					
エニッコ	フカリナ						1 7+口/114以及	:AI*			
	アルリキ			引内容と到達 「第20世界					지나는 나 사내	拉米川	
分類		分	王了	学習内容	学習内容の到達目標			ロズキマ	到達レベル	技業週	
専門的能力					で担けに作用するものつり合いについて認識! でもを計算でき			4			
	分野別の)車 商	船系分野		る。 層流と乱流の違いを説明できる。			4			
	分野別 <i>0</i> 門工学	ク等 商加糸2 (機関)	関)	流体力学	層派と乱流の違いを説明できる。 ベルヌーイの式と連続の式を用いて流速および流動。		量を計質できる				
							、		4		
					船体に作用する抵抗 説明できる。	 亢の種類(摩擦抵抗	 1、造波抵抗な	:ど)について、	4		
					DUP) CC 20						

				流れの中に存在する できる。	る物体に作用する抗	「力および揚力につ	いて説明	4		
				抗力係数および揚力。	口係数を用いて、扩	「力および揚力を計	算できる	4		
				摩擦の種類および!	望いについて説明で	ごきる 。		4		
				潤滑の目的について、説明できる。						
	冷凍サイクルを構成する要素について認識し、それぞれの機能に ついて説明できる。				の機能に	4				
	p-h線図(モリエ線図)について認識し、冷凍装置の冷媒の状態変化を読み取ることができる。				の状態変	4				
	空気調和に関する諸因子(乾球温度、温球温度、絶対湿度、相対 湿度など)を求めることができる。			度、相対	4					
				湿り空気線図につい とができる。)て認識し、湿り空	受気の状態変化を読	み取るこ	4		
			<u> </u>	流体機械の種類、構	構造および作動原理	≧について、説明で	きる。	4		
		キャビテーションについて説明できる。			4					
評価割合										
	試験		 発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	提出物	í	合計	
総合評価割合	90		0	0	5	0	5	100		
基礎的能力	30		0	0	0	0	0	30		
専門的能力	60		0	0	5	0	5		70	
分野横断的能力	0		0	0	0	0	0)	